



無所属・無党派

さいたま市議会議員

# 川村 準

じゅん

## 市議会レポート

1月号

南区南浦和1-27-11-107  
携帯 090-1404-2151  
junkawamura@yaho.co.jp

### 議員報酬の引き上げ

### 自公立共が選挙対策でゴマカシ

12月議会では、5年連続で議員、市長、市職員等の報酬や給与を引き上げる議案が提出されました。ただ、議員報酬のみ自民、公明、立憲系、共産の賛成により採決は先送りになりました。しかし、報酬増を行わないわけではなく4年前も選挙後こそり報酬を引き上げています。

### 消費増税7割が引き上げ分へ

議員、市長、市職員等の報酬や給与の引き上げは5年連続となり、累計で年間約38億円も市の支出が増えます。一方、今年10月に消費増税が行われた場合、さいたま市では地方消費税による税収が約57億円増えますが、増税の7割

一般経済に逆行することに対し、疑問が残ります。さて、2015年4月の市議選以降は

### 4年前も選挙後に報酬増

市議会議員は4年に1度改選が行われますが、この改選がある時の直前に提出された報酬引き上げ議案のみ採決を先延ばししています。実際に2015年2月議会では廃案になっていました。しかし、15年4月に選挙

15、16、17年の各12月議会議員報酬の引き上げが提案され、基本的に自公立の賛成多数で採決を

先延ばしせず即可決しています。しかし、今年度12月議会の議員報酬の引き上げについては、自民が採決の先送りを委員会で提案し、立憲系、公明のみならず共産までが同意し、先送りになりました。

に1度改選が行われますが、この改選がある時の直前に提出された報酬引き上げ議案のみ採決を先延ばししています。実際に2015年2月議会では廃案になっていました。しかし、15年4月に選挙

引き延ばしは市民の批判を避けることを狙った選挙対策でしかありません。一方で、「第二の報酬」とも揶揄される政務活動費の改革について議会は後ろ向きのままです。同じ12月議会に、私が紹介議員となつて提出した「政務活動費を後払い方式に変更」、「成果書のネット公開」、「政

務活動費の年度またぎを禁じる」3つの請願は、自民、公明、立憲系、共産が申し合わせたかのように、そろって審査を先送りしました。選挙の争点としないよう、賛否を明確に出来ないためと考えられます。私は今後も、議員報酬を適正な水準にすることを主張するとともに、政務活動費の徹底的な透明化を訴えていきます。